

2. 令和4年度の取組の共有について

※本年度の各構成員における取組み状況につきまして、協議会内で共有いたします。

※公表までに細部の表現方法等、修正が有る場合があります。

【旭川開発建設部】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

計画表(旭川開発建設部)

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
【河川事業】 河道掘削、河床低下対策 (旭川市街地)	→		
【河川事業】 河道掘削、堰改築、侵食対策 (美瑛川中下流部等)	→		
【河川事業】 河道掘削、堤防整備等 (上流部)		→	
【直轄火山砂防事業】 砂防堰堤等 (十勝岳)	→		
【直轄火山砂防事業】 砂防堰堤等 (石狩川上流)	→		
【直轄火山砂防事業】 流域流木対策 (治山事業による森林整備 事業と調整)	→		
【国営農業事業】 農地再編整備事業	→		

R4年度の取組内容

河川事業



直轄火山砂防事業

十勝岳流域流木対策の取組みに着手
(治山事業と連携)



土砂災害特別警戒区域の避難所及び温泉街を保全するために遊砂地工を整備

国営農業事業



【利水ダム】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

令和4年8月16日の大雨では、治水協定に基づき、利水ダムの空き容量を活用した洪水貯留を実施。※ 各ダム下流河川の水位低減に寄与したものと考えられる。

石狩川上流のダム



令和4年8月15日～8月19日の主な洪水貯留の実績

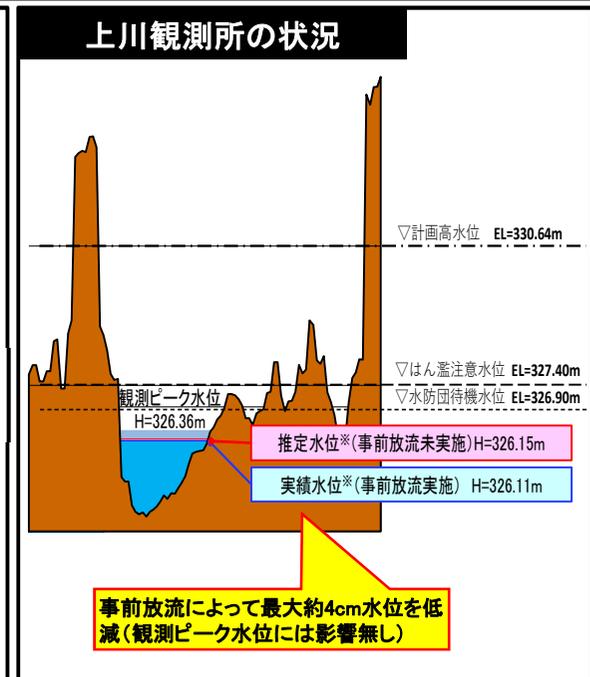
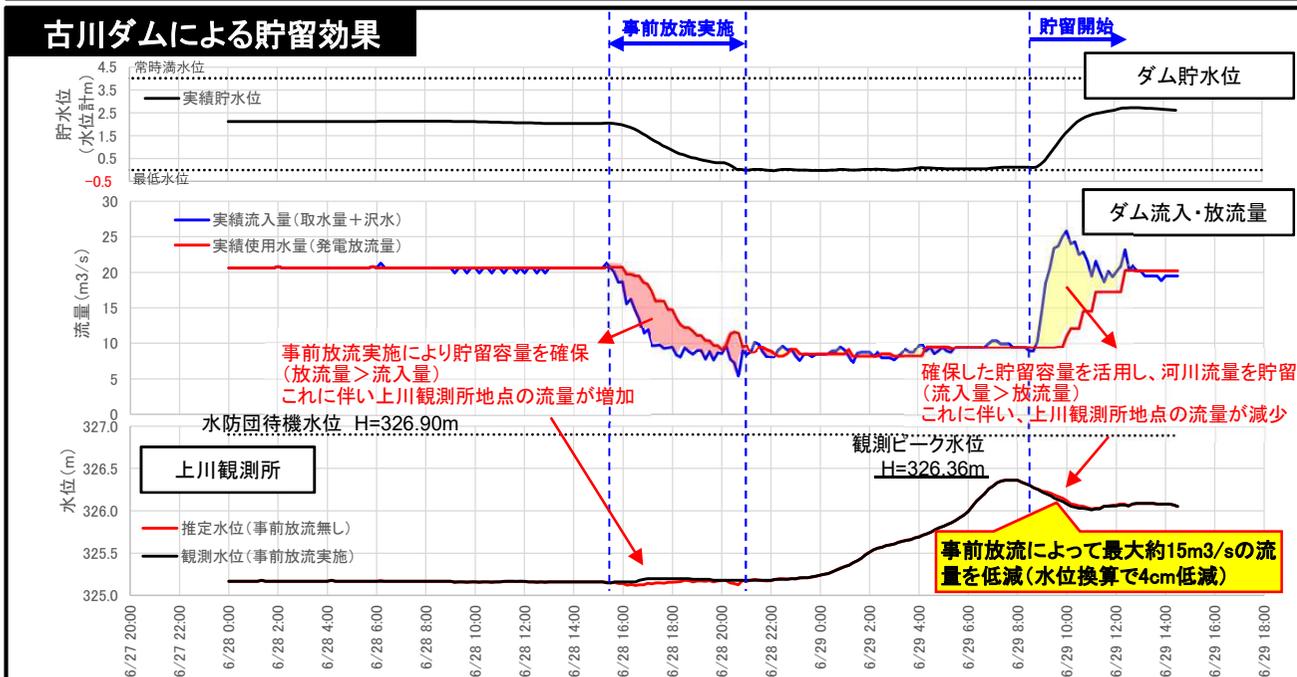
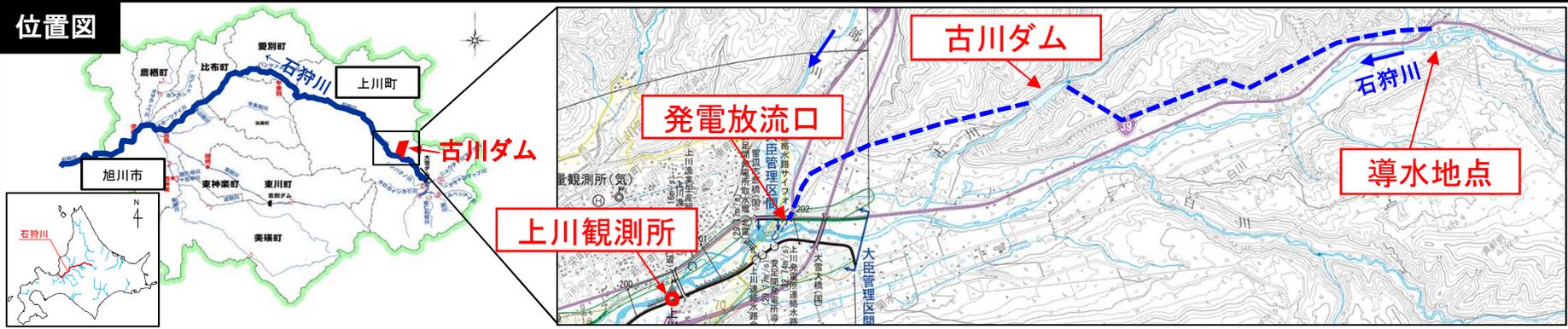
ダム名	所管省庁	ダム管理者	貯留量 (千m3)
ペーパン	農林水産省	旭川市	682
当麻	農林水産省	当麻 土地改良区	351
神居	農林水産省	旭川市	1,659
新区画	農林水産省	美瑛川地区 土地改良区連合	115
しろがね	農林水産省	美瑛町、上富良野町、 中富良野町 (美瑛町)	-91
石狩川上流		計	2,716



※事前放流等により確保すべき容量が利水等により既に確保されていたため事前放流は実施せず

【利水ダム】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

令和4年6月28日には、前線を伴った低気圧の接近による大規模な洪水に備えて、**道内初となる治水協定に基づいた利水ダムの事前放流**を古川ダム(北電)で実施し、約5.7万m³の貯留容量を確保しました。
 確保した容量を活用して洪水を貯留し、上川観測所で最大約15m³/sの流量をカットすることにより水位を約4cm※低減しました。
 ※ 旭川開発建設部試算



【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

計画表(上川総合振興局産業振興部整備課(整備課・上川中部整備室))

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
農業農村整備事業 (農地の整備・ため池等の整備)	→		
農地整備事業(忠別北地区)	→		
農地整備事業(兵村北地区)	→		
農地整備事業(北成地区)	→		
農地整備事業(東1地区)	→		
農地整備事業(忠別南地区)	→		
農地整備事業(拓進地区)	→		
農地整備事業(旭正北中央地区)	→		
農地整備事業(永山西第1地区)	→		
農地整備事業(鷹栖南地区)	→		
農地整備事業(旭正南第1地区)	→		
農地整備事業(忠栄地区)	→		
農地整備事業(朗根内地区)	→		
田んぼダムの広報	→		

R4年度の取組予定

農業農村整備事業

農地の整備による貯留機能向上(田んぼダムの取組の基盤を整備)

農地整備事業において、水田の畦畔や落ち口を整備することにより、水田の貯留機能の向上をはかる。

田んぼダムの取組に関する広報

関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。

R4年度の取組内容

農業農村整備事業の実施

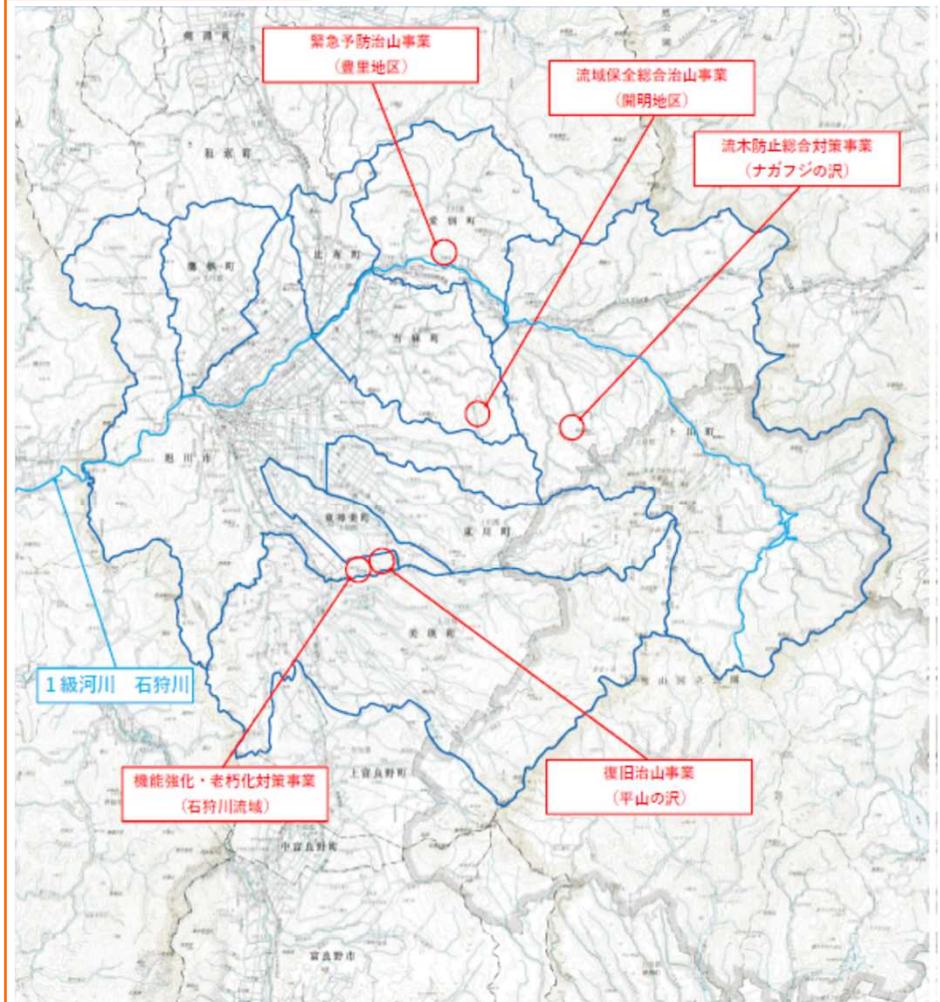
上川中部整備室において、農地整備事業を実施し、田んぼダムの取組の基盤を整備した。

【上川総合振興局林務課・南部森林室】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

計画表(上川総合振興局林務課・南部森林室)

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
機能強化・老朽化対策事業 (石狩川流域)	R6以降5年毎に見直し(予定)		
復旧治山事業 (平山の沢)	R5以降随時見直し(予定)		
緊急予防治山事業 (豊里地区)	R5以降随時見直し(予定)		
流木防止総合対策事業 (ナガフジの沢)	R5以降随時見直し(予定)		
流域保全総合治山事業 (開明地区)	R5以降随時見直し(予定)		

R4年度の取組内容



実施年度	工種・数量	実施箇所
令和4年度	溪間工 2基 山腹工 0.08ha 溪間工 3基 森林整備 14.05ha 山腹工 0.12ha 森林整備 63.78ha	上川管内石狩川流域 平山の沢 ナガフジの沢 豊里地区 開明地区

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

計画表(旭川建設管理部)

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
比布川広域河川改修事業	→ (R6完了予定)		
牛朱別川広域河川改修事業	→ (R20完了予定)		
ポン川広域河川改修事業	→ (R7完了予定)		
ポン川広域河川改修事業 (八千代川工区)	→ (R25完了予定)		
置杵牛川広域河川改修事業	→ (R21完了予定)		
イブンペウシ川総合流域防災事業	→ (R6完了予定)		
アイヌ川総合流域防災事業	→ (R10完了予定)		
雨紛川総合流域防災事業	→ (R14完了予定)		
十五号川総合流域防災事業	→ (R11完了予定)		
ペーパン川総合流域防災事業	→ (R5完了予定)		
ペーパン川河川災害復旧等関連 緊急事業	→ (R4完了予定)		
愛別ダム堰堤改良事業	→ (R29完了予定)		
ペーパン川治水ダム建設事業 (実施計画調査段階)	→ (R18完了予定)		
ポンペーパン川通常砂防事業	→ (R7完了予定)		
ポン倉沼川通常砂防事業	→ (R7完了予定)		
辺別川火山砂防事業	→ (R6完了予定)		
旭川旭神3条1丁目急傾斜地 崩壊対策事業	→ (R4完了予定)		
大雪山火山噴火緊急減災 対策事業	→ (R7完了予定)		

R4年度の取組内容

過年度から引き続き、河道掘削等を推進する。



ペーパン川 施工中箇所(護岸工)



ポン川 施工完了箇所(掘削工)

【旭川市】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

計画表(旭川市)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
土地利用(立地適正化計画等)	適宜		
下水道事業による浸水対策	適宜		
安全・安心な避難のための事前の備え	検討	モデル地区	拡充を検討

田んぼダムの活用

- ・田んぼ5,790 ha(作付面積)のうち、**3,387haを田んぼダムとして活用**しています
- ・今後は更に拡大をはかっていきます

令和4年6月28日から29日にかけての大雨時の状況

①大雨前 28日 16時48分



②大雨後 29日 7時40分



減災対策協議会における「取組方針」(旭川市)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講習等を通じてマイタイムラインの周知や作成の支援をする。 ・防災講習等の際に、マイタイムラインの周知や作成についての支援を行った。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者利用施設のうち、避難確保計画未作成の施設に対して、作成し報告するよう関係機関と連携し、報告を促す。 ・浸水想定区域内の要配慮者利用施設を精査し、新たに放課後児童クラブを地域防災計画に定めた。 ・新規の要配慮者利用施設及び避難確保計画未報告の施設に対して、作成し報告するよう通知した。
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会等を通じて市民へ周知する。 ・洪水ハザードマップの活用を含め、避難判断・行動方法の普及啓発に取り組む。 ・講習会等を通じ市民への周知等に取り組んだ。 ・地区防災会議が作成する地区防災計画に「まるごとまちごとハザードマップ」の設置場所を掲載することについて、同会議内での検討を進めた。 ・関係機関と連携し、防災教育の支援を行う。
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・3校の小学校において1日防災学校を実施した。 ・地域における講習会など様々な機会を捉え、水防災に関する意識啓発を実施した。 ・協定締結機関と連携し、福祉避難所開設訓練を実施した。
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会等を通して「旭川市浸水想定区域図空白地」を周知する。 ・講習会等を通じて「旭川市浸水想定区域図空白地」の周知を図った。

【旭川市】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

- ◆ 旭川市忠和地区・近文地区の市街地は、低平地であることと、石狩川とその支川の合流点に位置していることから、氾濫水が集まりやすく、想定浸水深が深く水害リスクが高い。平成28年8月等の洪水で内水被害が発生。
- ◆ 旭川市では、確実かつ迅速な内水排除のため防災安全交付金により内水被害の発生頻度が高い樋門に水位監視通報装置を設置。併せて国による河道掘削残土を活用した堤防部拡幅の実施により、ポンプ排水の作業性が向上。
- ◆ 更に市及び市民委員会により、避難先及び避難手段確保のための民間企業との協定締結を推進するとともに、公共施設の更新に合わせて、浸水リスクの低いエリアへの移転を計画。まるとまちごとHMの周知も促進。



旭川市の取組(内水位監視通報装置設置以外)

- ① 自家用車による避難等を考慮した避難先の選定や避難方法を検討
 - ◆ 水害発生時における避難者の受入等に関する協定(市民委員会と民間企業)
 - ◆ 災害時における緊急避難場所としての施設使用に関する協定等(旭川市と民間企業)
- ② 公共施設更新に伴う移転

廃棄物処理施設を浸水深の低いエリアへ移転し耐水化
- ③ まるとまちごとハザードマップの周知促進



協定締結式(R3年9月1日)



民間企業との協定締結推進

【鷹栖町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

計画表(鷹栖町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
下水道事業による浸水対策	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・田んぼ2,240 ha(作付面積)のうち、**1,993haを田んぼダムとして活用**しています
- ・今後は更に拡大をはかっていきます



減災対策協議会における「取組方針」(鷹栖町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・先行事例として北斗・北成地区を対象に作成サポートを検討。 ・コロナ禍により地域活動への参画が困難であったため、次年度以降の検討を継続する。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・該当無し(今後、該当施設が確認された場合は、避難確保計画策定の支援を実施する。) ・該当無し
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・まるとまちごとハザードマップの作成を検討。 ・他市町村の事例研究を進め、作成の検討を継続した。
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ・町内2団体における出前講座を実施した。
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・対象外となっている地区(河川)について、関係機関及び地域住民との情報共有を行う。 ・情報共有の方法等について継続して検討した。

【東神楽町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

計画表(東神楽町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
下水道事業による浸水対策	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

・田んぼ1,250 ha(作付面積)のうち、**1,138haを田んぼダムとして活用**しています。
 ※国営緊急農地再編整備事業との連携を強化し、田んぼダムの取り組みを推進し、今後は更に拡大をはかっていきます

減災対策協議会における「取組方針」(東神楽町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	令和4年度は町民を対象に作成サポートを実施予定。令和5年度以降は計画に基づきサポートを地区実施予定。 住民による作成サポート計画内容を検討。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	令和4年度から令和5年度にかけて、全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。 地域防災計画改定案を作成中。 想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設を記載予定。
ハザードマップの利用促進	必要に応じてまちごとまちなごハザードマップの更新を検討する。 令和4年度は3Dハザードマップを作成予定。 ハザードマップの更新(令和5年3月策定公表)
防災教育の徹底	関係機関と連携し、計画的に出前講座等を実施予定。 町内小学校を対象に1日防災学校を実施。 小学校宿泊研修にて防災学習を実施
ハザードマップ対象外地区の対応	ハザードマップの更新にあわせて対応予定。 ハザードマップの更新準備。 対象外地区の記載方法を検討。

【当麻町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

計画表(当麻町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・田んぼ2,590 ha(作付面積)のうち、**843haを田んぼダムとして活用**しています
- ・今後は周知(広報)に取り組み、更なる拡大をはかっていきます

減災対策協議会における「取組方針」(当麻町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・マイタイムラインの作成について住民に普及・促進を図る ・住民に対する研修を実施し、普及に取り組み
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者に対する個別避難計画の前倒し策定 ・最優先となる要支援者の避難計画を作成
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水ハザードマップの活用について住民等に説明 ・住民への説明にむけ、役場職員、議員、消防団に防災研修として普及
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会と連携し、効果的な防災教育の実施 ・10月3日に役場職員に防災研修を実施 ・10月12日に議員に防災研修を実施 ・10月28日に当麻中学校にて防災講話の実施 ・11月27日に消防団に防災研修を実施
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップ空白地での危険箇所の有無の把握 ・引き続き協議を進める

【比布町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

計画表(比布町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・田んぼ1,520 ha(作付面積)のうち、**1,505haを田んぼダムとして活用**しています
- ・今後は更に拡大をはかっていきます

減災対策協議会における「取組方針」(比布町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・住民による作成サポート計画を立案予定。 ・サポート計画を検討中。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き避難行動要支援者(高齢者、障がい手帳所有者等)に対し、個別に避難計画を作成。 ・避難訓練実施の検討する。 ・避難行動要支援者の個別避難計画策定予定。 ・北海道へ講師を依頼し、災害対策本部訓練、住民対象の防災研修会を実施。
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・想定最大規模のハザードマップを作成し、住民に配布した。(ホームページにも掲載) ・ハザードマップの利活用を検討。
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、計画的に防災授業を実施予定。 ・4年生児童、保護者を対象とした防災教室を実施。
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・氾濫計算を実施し、ハザードマップの見直しを検討する。 ・対象外地区のハザードマップ見直しを検討。

【愛別町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

計画表(愛別町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・作付面積1,481.60haのうち、**1,427.99haを田んぼダムとして活用**。
- ・令和4年6月28・29日の大雨時に、田んぼダムとして活用された。



減災対策協議会における「取組方針」(愛別町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・住民による作成サポート計画案の作成を検討する。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による集会等の自粛により、住民との懇談の機会が持てなかった。引き続きマイタイムラインの住民による作成サポート案の立案について検討を行う。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・警戒レベルを用いた避難勧告等の発令・伝達に着目した避難行動要支援者に対する支援計画の作成を検討する。 ・避難行動要支援者の避難支援体制充実のため、特別養護老人ホームいこいの里「あい」を新たに指定福祉避難所として指定した。
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年記載内容を確認し、住民による有効的な活用についても検討を行う。 ・出前講座において、旭川地方気象台の職員を講師に招き、ハザードマップの説明や防災気象情報の利用方法について参加住民に説明した。
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ・引き続き、教育委員会、町内小・中学校と連携し、出前講座の実施について検討を行う。
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に対象外地区における危険箇所を把握済。 ・対応済み。

【上川町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

計画表(上川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
土地利用(立地適正化計画等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・田んぼ250 ha(作付面積)のうち、**103haを田んぼダムとして活用**しています
- ・田んぼダムの活用に向け、地域住民に対するPR等の実施予定でしたが、コロナウイルスの影響によりできなかったため、令和5年度に実施していきます。

減災対策協議会における「取組方針」(上川町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<p>マイタイムラインのひな形を作成し、地域住民に普及啓発を検討実施する。</p> <p>ひな形作成後、マイタイムラインを作成。町内に全戸配布。また、防災イベント時に、参加者に説明&配布(6/15)</p>
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<p>避難行動要支援者にたいする個別計画の策定及び、それに基づく避難訓練の実施を検討する。</p> <p>個別避難計画策定検討中。</p>
ハザードマップの利用促進	<p>ハザードマップの更なる周知や施設への設置範囲の拡大を検討。まるごとハザードマップの作製・設置を検討実施予定。</p> <p>一部箇所に設置。更に設置予定。</p>
防災教育の徹底	<p>関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。</p> <p>計画的な出前講座を予定していたがコロナにより中止。</p>
ハザードマップ対象外地区の対応	<p>ハザードマップの空白地についての対応検討予定。</p> <p>空白地の把握として、改めて中小河川の把握を検討中。</p>

【東川町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

計画表(東川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
土地利用(立地適正化計画等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・作付面積2,140 haを含め、**2,900haを田んぼダムとして活用**しています
- ・今後は更に拡大をはかっていきます



水位調整板

- 幅220mm × 高さ150mm
- 幅220mm × 高さ50mm
- 幅220mm × 高さ25mm

を組み合わせ落口に設置して水位を調整し、河川の氾濫危険が高まった場合に田んぼに貯水して流量の調整を行っている。

減災対策協議会における「取組方針」(東川町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	①R4年度は先行事例として西部自治振興区を対象に作成サポートを実施予定。③R5年度以降は計画に基づきサポートを全自治振興区で実施予定。 マイタイムラインの雛形を作成し、第一地区自治振興区でサポート実施した。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	①R4年度に全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定。 浸水想定区域内の要配慮者施設(10施設)は避難確保計画に基づき全施設が訓練実施した。
ハザードマップの利用促進	R4年度はまるごとまちごとハザードマップを作成予定。 R4年度は作成に向けて検討。次年度以降に作成予定。
防災教育の徹底	R4年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材を教育委員会に提供、説明を予定。 町内3小学校で、洪水に関する出前授業を実施。
ハザードマップ対象外地区の対応	ため池の決壊被害の説明会は実施済みであることから、ため池以外の調査を検討。 空白地の把握を検討中

【美瑛町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

計画表(美瑛町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
下水道事業による浸水対策	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・田んぼ853 ha(作付面積)
- ・今後はより、周知と推進を行っていきたいと思います

減災対策協議会における「取組方針」(美瑛町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載し、普及啓発を行う ・引き続き、タイムラインを掲載している「美瑛町防災ガイドブック」の普及啓発を行う
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定済。 ・引き続き、避難確保計画をもとに防災活動の普及啓発を行う
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。 ・随時、ハザードマップの説明会を実施予定 ・まるごとまちごとハザードマップの作成に向けて引き続き協議を進める
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教室を実施。 ・防災教室を実施するとともに町内の小中高学校(計4校)において防災研修会を実施
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・対象外となっている地区を対応を検討する。 ・引き続き検討を進める

【上川中部森林管理署】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

計画表(上川中部森林管理署)

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
十勝岳地域防災対策総合治山事業	R6以降10年毎に見直し(予定)		
復旧治山事業(黒岳沢地区)	R5以降5年毎に見直し(予定)		
保安林改良事業			
その他災害等突発的な対応	随時臨機に対応		

R4年度の取組内容



実施年度	工種・数量	実施箇所
令和4年度	導流堤工 2基 溪間工 2基 山腹工 1箇所 調査業務	十勝岳 天人峡 黒岳沢

R4年度の取組内容(工事箇所写真)

十勝岳



天人峡



R4年度の取組内容(砂防事業と連携した流域流木対策)

美瑛川(十勝岳 白金地区)において、林野事業と砂防事業の連携による流木災害の防止・軽減を目的に、流域流木対策を推進することとなった。

美瑛川(石狩川水系・北海道美瑛町)【流域流木対策箇所】

■ 石狩川上流における流域流木対策の取組事例

直轄砂防と治山事業が連携した流域流木対策の実施

全国で展開している流域治水プロジェクトのうち、石狩川上流流域治水プロジェクトでは、直轄砂防事業と治山事業が連携した流域流木対策の取組を推進をすることとしています。流域流木対策の取組とは、各流域において想定される発生流木量及び流木対策整備量を計画段階で調整し、各々が流木対策を実施していくものです。



過去の災害発生時の状況

大正15年噴火により、大規模な融雪型火山泥流が発生。

死者・行方不明者:美瑛村(当時)7名、上富良野村(当時)137名、計144名



流域概要図



事業連携による成果

石狩川水系美瑛川では、令和4年度から直轄砂防と治山事業が連携して効率的に流木対策を実施する全国初のモデル地区になりました。直轄砂防と治山事業が連携してそれぞれの事業を一体的に実施することで、効率的に対象流域における流木被害を防止・軽減していきます。

(令和4年度の取組状況)

砂防事業

- ・令和4年度 委員会報告書(案)作成

治山事業

- ・令和4年度 報告書を参考に次期計画を検討

治山事業による整備状況



砂防事業による捕捉イメージ

【国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター北海道水源林整備事務所】

流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

計画表(機関名)

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
水源林造成事業	→		

R4年度の取組予定

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・石狩川流域における水源林造成事業地は、約70箇所（森林面積 約8千ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。

R4年度の取組内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策
森林整備 間伐実施



間伐実施前



間伐実施後